

第3回議会報告会が実施され

多様な意見が出されました

先日第3回の議会報告会が市内2ヶ所（福岡・中沢）で行われ、それぞれ8名の参加者と、関心の低さが今後の課題となりますが、参加者方からは多様な意見が出て、叱咤激励も含めて議会への期待を受け止めた報告会でした。

広報の仕方

編集を工夫して

福岡第1自治組合集会所

（公道館）

（8名）

◆ 報告内容はもっと具体的に、会派の内容や活動状況などいれては。

◆ スマートインターチェンジの建設と近くにある「ミミ山の環境整備を一体に、市で積極的に取り組んでもらいたい。

◆ 大徳原は市道設定されていない道路も多数あり遅れている、道路事情をもっと考えて欲しい。

◆ ツルヤが出来て他の店への影響に不安を感じている。

◆ 福岡も区に未加入の世帯が3500戸程ある。自治体に入ること前提に指導するなど市全体で対策を考えて欲しい。

◆ こまちゃんバスが無くなってしまおうと言ったのだが、財政

◆ 中沢支所大会議室

（8名）

◆ 駒ヶ根市は19市の中でも断トツ将来負担比率も高く高い借金状況があり市民としては心配だ。19市の平均に戻すために議会は何をどうするのか。

◆ こまちゃんバスが無くなってしまおうと言ったのだが、財政

事情だけで無くしてしまうのは問題だ。大曾倉一駒ヶ根駅間の本線を残すべきだ。市役所の意見通りにするのはなく議会として役割を果たし頑張ってもらいたい。

◆ 難しい話を聞いた。参加者が少なく、市民は出てくる意義を感じていないのでは。地域の声をどのように議会に反映させようとしているのか。

◆ 結果を報告しているが、もっと審査結果に至った経過を伝えてほしい。

◆ こまちゃんバスの問題は、家族の問題として考える必要もあり、親が子を、子が親をみる責任、タクシール券ではなくガソリン券が必要なのではないか。

◆ 東中通学区の問題は、中沢東伊那の為に赤穂がしてやってくれという考えはおかしい、駒ヶ根市一体でこの問題を考えたい。

◆ 議員はどの地域でも同じ目線で市全体を考えて平等性を持った活動に頑張ってもらいたい。

会派の視察 美里町

伊勢崎市・太田市へ

日本共産党会派 坂本裕彦議員（竹村議員）は過日、当市の抱える共通する課題で、先進自治体に学ぶため行政視察を行いました。

介護保険料の法定外

繰入で負担軽減へ

埼玉県美里町はブルーベリーの植栽面積日本一として知られる町で40ヘクタールが栽培されています。

この自治体は全国的にも少ない介護保険料を一般会計から繰り入れて保険料の引き上げ抑制の施策を第3期 平成18年（と）している先進的な自治体です。平成23年度の法定外繰入金は約3000万円、1人当りの法定外繰入額は10140円。第5期 平成24年（26年）の介護保険料標準月額4000円に抑えています。こうした事例からも首長の決断と自治体のやるぎで一般会計からの繰り入れで保険料を抑えることが可能なことを示した事例といえます。

国保の引き下げで負担軽減と支出を減らす

群馬県伊勢崎は古くから養蚕が盛んで1200年以上の歴史を持ち、平成の大合併で人口

20万人の伊勢崎市が誕生しました。

伊勢崎市は国民健康保険の加入率が約30%と高く、駒ヶ根市約26%（加入者一人当たりの国保税額も10万円を超過し、国民健康保険の引き下げと法定外繰入の施策を取り入れる一方、65歳以上の市民のスポーツ施設利用料無料化で、市民の負担軽減に努めるとともにスポーツによる健康増進で医療費支出を減らす」取り組みをしています。これらの施策もあり退職者一人当たりの医療費が減り、税金の収納率も上がっているとのこと。当市とでは規模も条件も違い、一概に伊勢崎市の施策を取り入れるのは無理もありますが、大いに参考になった視察でした。

太田市で水道事業の

官民連携を学ぶ

駒ヶ根市は官民連携の取り組みを学んでいる最中ですが、党市議団としても直接視察させていただき民営化の実情を学んできました。

